

- ・類似事業なし

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	326	医学的リハビリテーション機器整備に関する補助
合計	326	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・岐阜県保健医療計画（第7期）
第3部－第2章－第2節－今後の施策

(2) 国・他県の状況

- ・医学的リハビリテーションの設備整備に対する補助については、（対象となる施設が無い県を除き）各都道府県で実施されている。

(3) 後年度の財政負担

- ・整形外科領域の慢性疾患、脳卒中などの急性期疾患からの回復医療の体制を維持するため、引き続き、支援していく必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

- ・リハビリ医療提供体制の確保は、市町村域を超えて、より広域的に取り組むべきものであること、また、保健医療計画上も医学的なりハビリの重要性を明記していることから、県が補助を行うことは妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 医学的リハビリテーション施設に必要な医療機器の購入経費を補助することで、医学的リハビリテーション提供体制の充実を図る。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%
	(H)	(H)	(H)	(H)	(H)	%

○指標を設定することができない場合の理由

リハビリ医療体制を維持、継続していくための支援事業であり、指標化にはそぐわない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 <令和2年度（予定）>
 医学的リハビリテーション施設設備整備事業 補助2件
 揖斐厚生病院（ローイング、昇降式平行棒）、中濃厚生病院（集団心臓リハビリ式エルゴメーター・モニター、レッグエクステンション、昇降式平行棒）

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
 リハビリテーション機器の新規導入・更新にかかる経費を補助することにより、医学的リハビリテーション提供体制の充実が図られた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い 	
(評価) ○	リハビリテーション患者の数は年々増加傾向にあり、受入れ体制強化として、設備整備補助は必要である。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
(評価) ○	本補助事業により、リハビリテーション施設における設備環境は、着実に改善されている。
<ul style="list-style-type: none"> ・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある 	
(評価) ○	対象医療施設では、医療機器の調達にあたり、入札を実施するなど、経費節減に取り組んでおり、効率化が図られている。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・事業が直面する課題や改善が必要な事項 急性期、回復期、維持期といった病期に応じた治療、リハビリテーションを切れ目なく実施できる体制が必要である。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 地域住民のリハビリテーション施設の機能充実を図るとともに、医療機関相互の密接な連携と機能分担の促進、医療資源の効率的活用を図る。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	